



愛協だより

vol.43

児童福祉統括長 挨拶

～地域に根差しみんなが笑顔になれる場所～

城山の仮園舎に引っ越しして早10か月、残り4か月で新園舎完成です。5kmも離れた仮園舎での生活は、子どもの順応性、職員の工夫、保護者の信頼・協力でスムーズに過ごすことができており感謝の気持ちでいっぱいです。

平面図だけでは想像できなかった建物が現場を見に行くたび積み上がり、現実的になってきました。令和5年度に卒園し新園舎で過ごすことができない年長さんは建築現場へ見学に行き、「あそこがひまわりさんのへや！」「トイレはどこ？」の歓声に胸がチクリと痛みましたが、職員の「いつでも遊びに来てね」の言葉に笑顔。

新園舎の面積は旧園舎の1.5倍の広さで木のぬくもりを感じることができる木造構造です。自然の光や風を取り込んだ新園舎は、子ども・保護者・職員が笑顔になれる場所であり、地域の皆様とともに成長し、地域に根差した施設となっていくことが期待されています。

(工事中、地域からの苦情は1件もないそうです。)



[遊戯室 完成イメージ図]

あいこう認定こども園 新園舎外観完成イメージ図

〈完成予定年月日〉
令和6年9月中旬頃



現在の仮園舎の様子

園庭では園児さんが元気いっぱいに走りまわっています。たんぽぽを摘んだり、すべり台などの遊具で遊んだり、虫を追いかけたり。遊びを見つけるのが上手です。



建築工事現場の様子

令和6年4月末 現在

外壁下地が取り付けられ、屋上床には防水施行が施されました。窓ガラスの取付もされています。



<正面玄関 外観>

<2階 床屋上防水施工>

<遊戯室サッシ取付>

園児のみなさん・職員さんの声

新園舎の完成を心待ちにしている園児の皆さん、そして職員さんにもお話を聞かせていただきました。



01 ひまわりぐみ Tくん

おゆうぎ室の天井を見て、「形、すごいことになってる！」と、いちばんに元気な反応を示してくれたTくん。小さい窓や大きい窓がたくさんある事にも気付き、ここで何をして遊びたいか聞いてみたところ、「ころがしドッジボールするのが楽しみ！足に当たるとアウトだよ」と教えてくれました。

他にも、園庭では何したい?との問い合わせには「走ったり、遊具で遊んで、すべり台したり」と、園庭で遊ぶのを楽しみにしている様子でした。



02 ひまわりぐみ Aちゃん

砂場あそびが好きなAちゃんは、「おおきいお山つくりたい」と、園庭に真っ先に興味を示してくれました。給食を調理している様子をいつでも見る事のできる「食育の窓」がある事を話すと「給食たべるの楽しみ！作って見たい」と楽しみにしている様子がとっても伝わりました。

ゆうぎ室では「でんぐり返ししたり、マッシュル歌ったりする」と、好きなアニメのお話をたくさんしてくれました。ちなみに、すきな給食はすいかです。



03 ひまわりぐみ Sちゃん

なわとびが好きなSちゃん。「ゆうぎ室でなわとびするのが1ばんたのしみ！」と教えてくれました。他にも、すべり台で遊ぶのを楽しみにしていて「新しい保育園にもすべり台あるといいな」と期待をよせています。Sちゃんの好きな給食は親子丼だそうで、「新しいところでも親子丼またてるといいな」と、好きなものをたくさん教えてくれました。



他にも園児の皆さんからは「おふねよりも大きくなるね」「みてみたいな～」「畑とかある！」「ごはん作ってるところだ」「すてきな所だね」など素直で可愛い反応をたくさん見せてくれました。

新しい園舎にお引越しをしてもどんな反応を示してくれるのか、とても楽しみです。

年長クラス
ひまわりぐみの皆さん

城山の仮園舎に来てから、地域の方々が園周りの雪かきを手伝ってくれたり、教育大学さんもグラウンドを貸してくれたり本当に親切にしていただき、「子どもの声が聞こえなくなるのは寂しいね」と声をかけて下さる方も沢山います。

コロナ禍では様々な制限がありましたが、見直して良かった点も多くありました。良いところ・見直しても良いものをしっかりと見極め、子どもたち主体で考え大切なものは残しながら、新園舎での保育に繋げていきたいと思います。

仮園舎の園庭に設置している遊具は、老朽化によりほとんど使用出来ないので、思いっきり体を動かして遊べる日が来る事を子どもたちは楽しみにしています。

新しい園舎に移るという期待がある中で、環境が変わる事により気持ちが落ち着かなくなったり、馴染むまでに時間のかかる子もいるかもしれません。出来る限り子どもたちの負担にならないよう、そこを1番に気を付けて寄り添っていきたいと思っています。



04 あいこう認定こども園 園長 先生



新園舎改築に伴い、これまで不便だと感じていた点を挙げていきました。職員の中で話し合い『こうなると良いな』という提案を反映しながら作り上げていったものも多いので、どんな風に使い易くなるのかなという期待があり、子どもたちにとって快適な園生活を送ってもらえるようになる事を嬉しく思っています。

仮園舎に来て環境の変化があった中、子どもたちの柔軟性・順応性に助けられました。大人の私たちの方が慣れるのに時間がかかるくらいです。これからまた環境は大きく変わり動線もスムーズになります。保育の根本は変わらないので、新園舎に行っても子どもたちは楽しく過ごしてくれると思いますし、移設後には運動会という大きな行事も控えていますが楽しんでやってくれるという自信があります。

新園舎に行って子どもたちがどんな反応をし、どんな遊びをしてくれるんだろうと考えると楽しみです。



05 あいこう認定こども園 教頭 先生



調理員さんたちからはこんな風に見えています

08 調理員さん



07 うさぎぐみ担任 (1歳児) 先生

まずは『元いた場所に帰れる』という気持ちと、新園舎を見て子どもたちがどんな反応をするんだろう？など、楽しみがたくさんあります。

食育はとても大切なことです。調理をしている所を見て“美味しいだな”と興味を持ってもらい、少しでも子どもたちの食事が進んでくれたら嬉しいなと思っています。小さな子たちが背伸びをして給食室を覗いている光景は本当に可愛らしく、疲れていても子どもたちが顔を出してくれているなと思うと、私たちにとって励みになります。